



親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく——。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出し、いく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、「大」と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

っては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」 北区上映会

令和8年

9月23日 水 (祝日)

開場 9:45~
開演 10:30~
自由席



詳しいアクセスはこちらをご確認ください



会場

新潟市北区文化会館 ホール

(・JR白新線豊栄駅より徒歩15分・タクシー約5分) 無料
(・日本海東北自動車道豊栄新潟東港ICより車で約6分) 駐車場あり

入場料金

【前売券】
一般・シニア・大学生 1,200円
【当日券】
一般・シニア 1,500円 大学生 1,300円 小中高生 800円
プレイガイド ■ 新潟市北区文化会館

【チケット発売日】
7/18(土)

問い合わせ先

新潟市北区文化会館

TEL 025-388-6900

E-mail
kitaku-jigyuu@shiteikanrisha.jp

【主催】新潟市北区文化会館